

第4部 初診時程度（死亡・重篤）から見た事故

1. 年別発生状況

東京消防庁管内では、令和2年から令和6年までの5年間に日常生活における事故により救急搬送された**8,214人**が、初診時程度が死亡または重篤でした。

令和6年中は、**1,671人**が死亡または重篤でした（図4－1）。

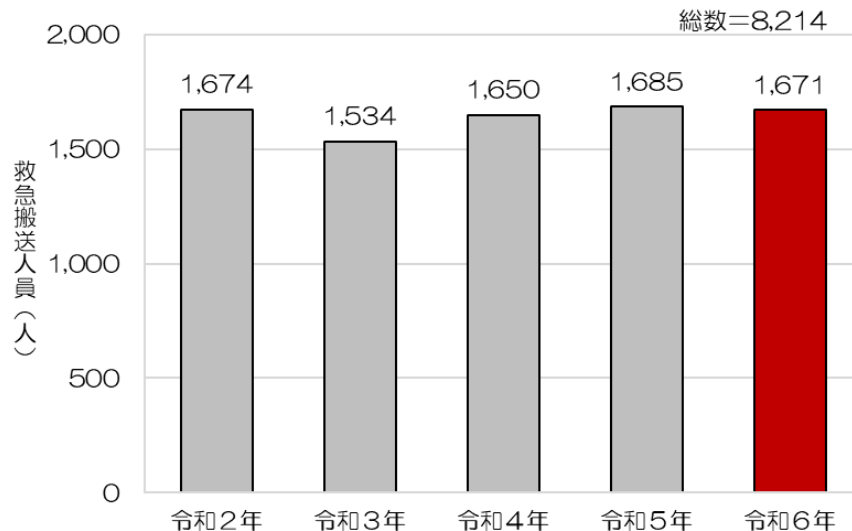


図4－1 年別の救急搬送人員

2. 月別搬送人員

月別に見ると、**12月の203人**が最も多く、次いで**1月に死亡・重篤**となる事案が多く発生しています（図4－2）。

年末年始の餅による「ものがつまる等」の事故、冬の入浴による「おぼれる」事故が増える時期に死亡・重篤となる事案が増える傾向が見られます。

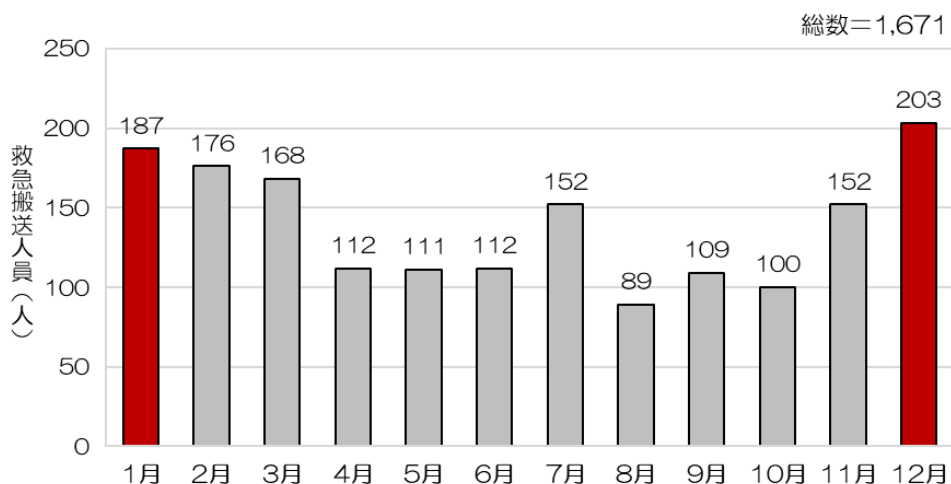


図4－2 月別の救急搬送人員

3. 事故種別ごとの搬送人員

令和6年では、「おぼれる」「ものがつまる等」事故が多く、その2つで全体（その他、不明を除く）の約6割を占めています

（図4－3）。

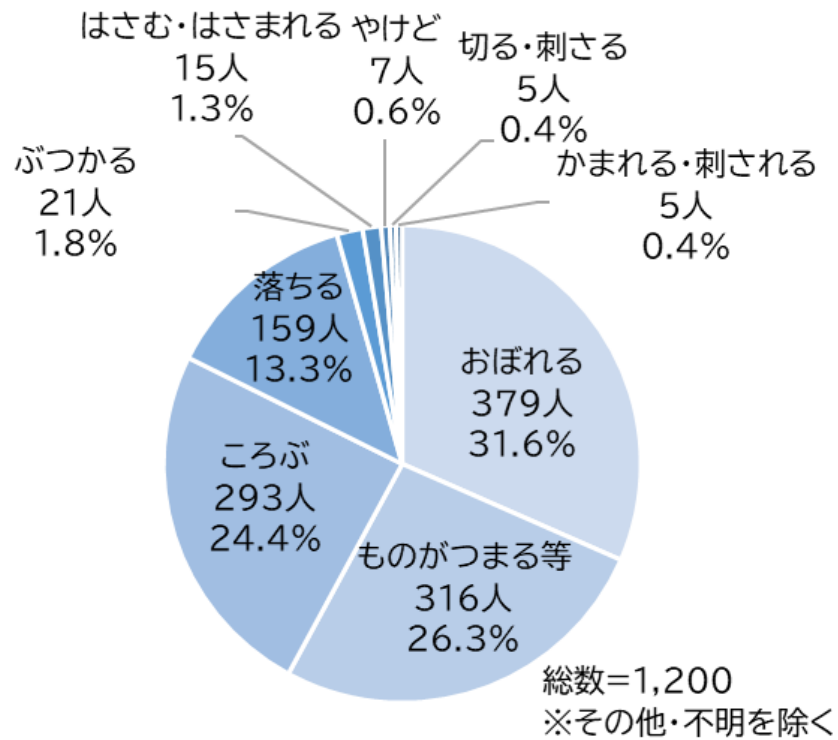


図4－3 事故種別ごとの救急搬送人員（その他、不明を除く）

4. 時間帯別・事故種別ごとの搬送人員

時間帯及び事故種別ごとに見ると、時間帯としては12時台及び17時台から19時台までで多くなっています。

食事の時間帯に「ものがつまる等」の事故が多く発生しており、また、入浴をする夜の時間帯に「おぼれる」事故が多く発生しています（図4－4）。

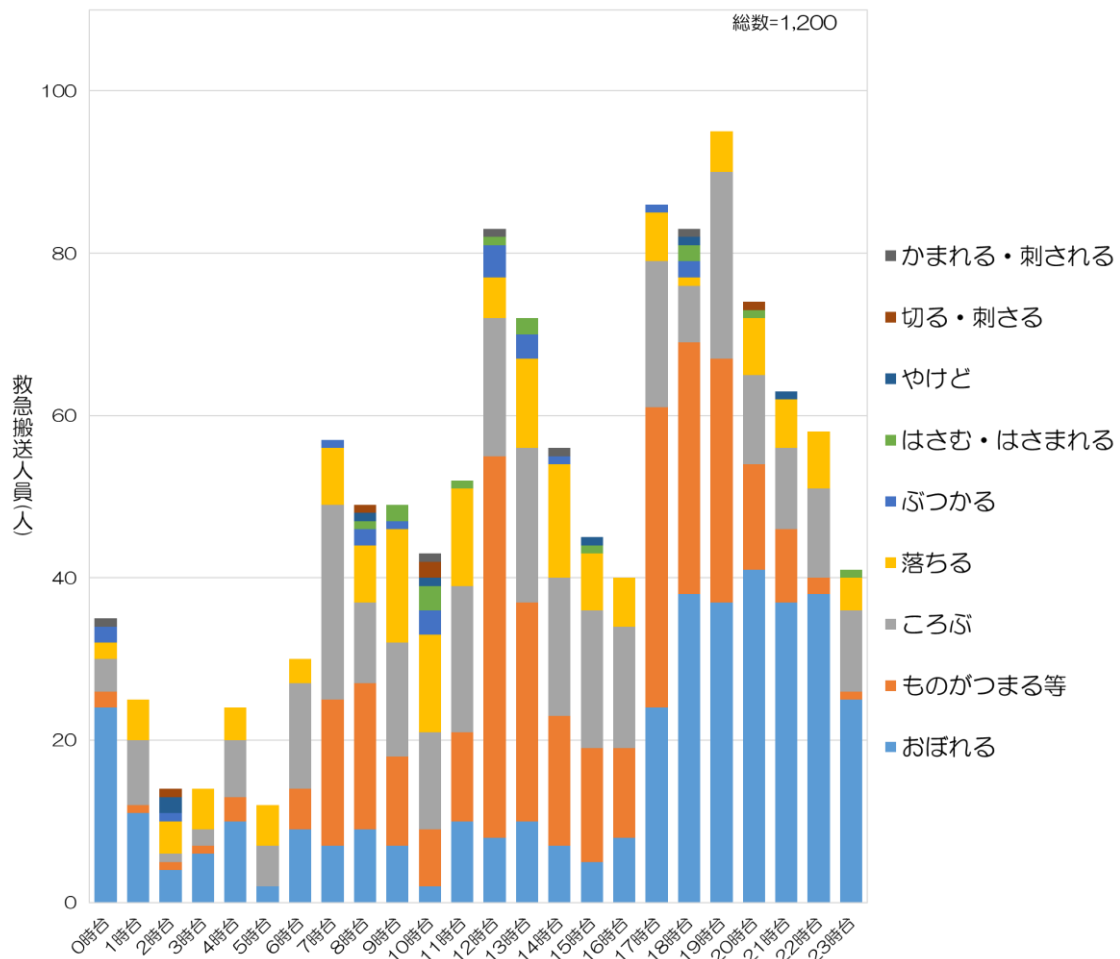


図4－4 時間帯別・事故種別ごとの救急搬送人員（その他、不明を除く）

5. 年代別・発生場所別の搬送人員

年代別に見ると、70代と80代で全体の約5割を占めています。発生場所別に見ると、住宅等居住場所が7割以上を占めています（図4-5）。

住宅等居住場所を除いて見てみると、年代別では70代が約2割を占めています。発生場所別では道路・交通施設が4割以上を占めています（図4-6）。

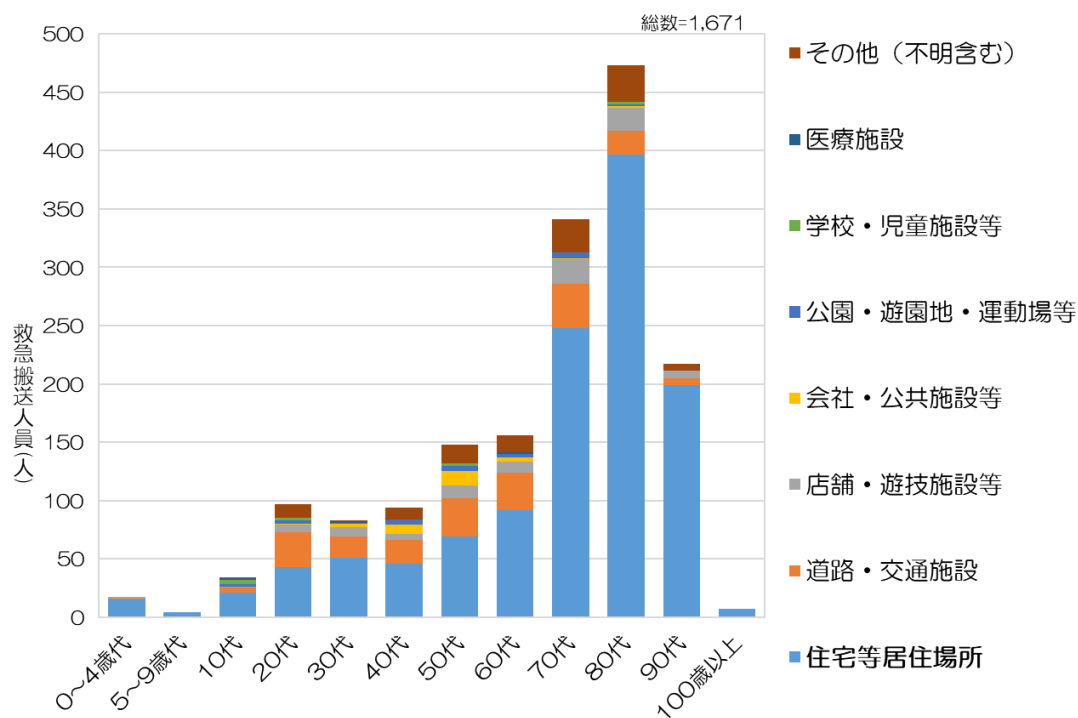


図4-5 年代別・発生場所別の救急搬送人員

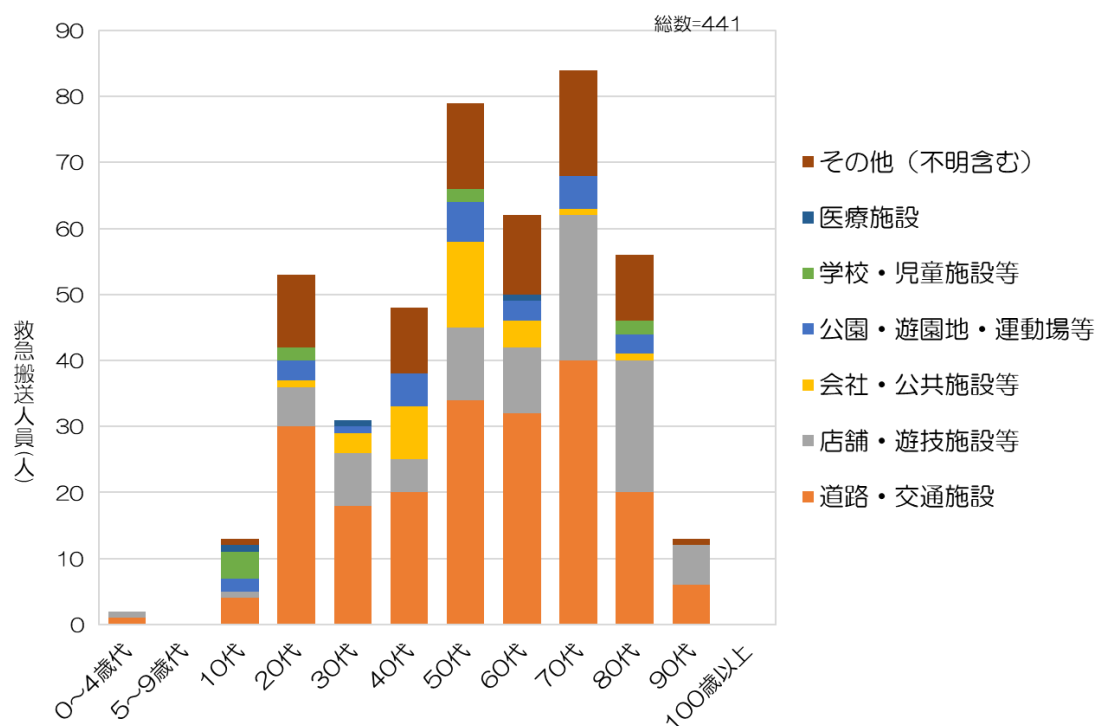


図4-6 年代別・発生場所別の救急搬送人員（住宅等居住場所を除く）

6. 事故種別ごとに見る死亡・重篤事故

- おぼれる

ア 年代別の搬送人員

70代から90代までが全体の約9割を占めています（図4－7）。

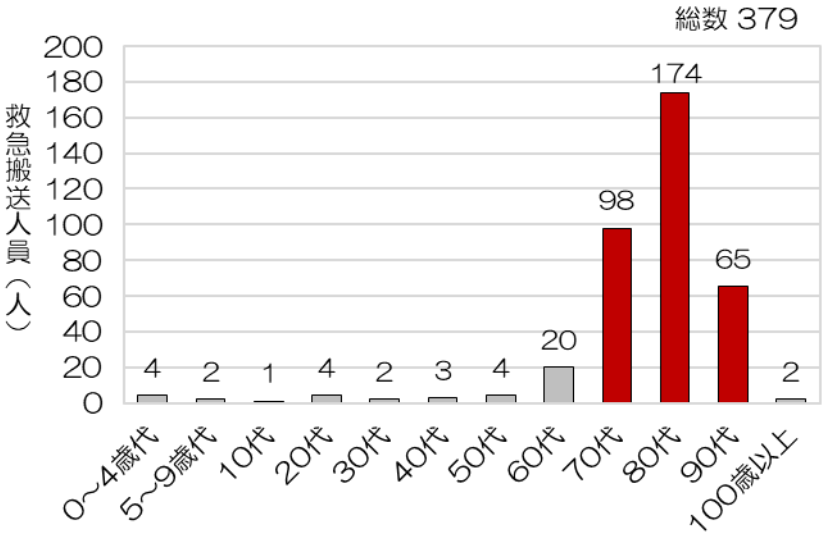


図4－7 年代別の救急搬送人員

イ 死亡・重篤事故が多かった要因

死亡・重篤事故以外を含む「おぼれる」の事故全体では、浴槽での事故が多くを占めていますが、死亡・重篤事故を見ても、浴槽での事故が多くを占めています（表4－1）。

表4－1 初診時程度で死亡・重篤が多かった事故の要因

1位	2位	3位	4位	5位
浴槽 362人	河川 15人	池・プール 各1人		

【事例 おぼれる】

浴室から出てこないのを不審に思った家族が確認しに行ったところ、顔が湯船に浸かっており、意識・呼吸がなかった（80代 死亡）。

- ものがつまる等

ア 年代別の搬送人員

70代から90代までが全体の約9割を占めています（図4－8）。

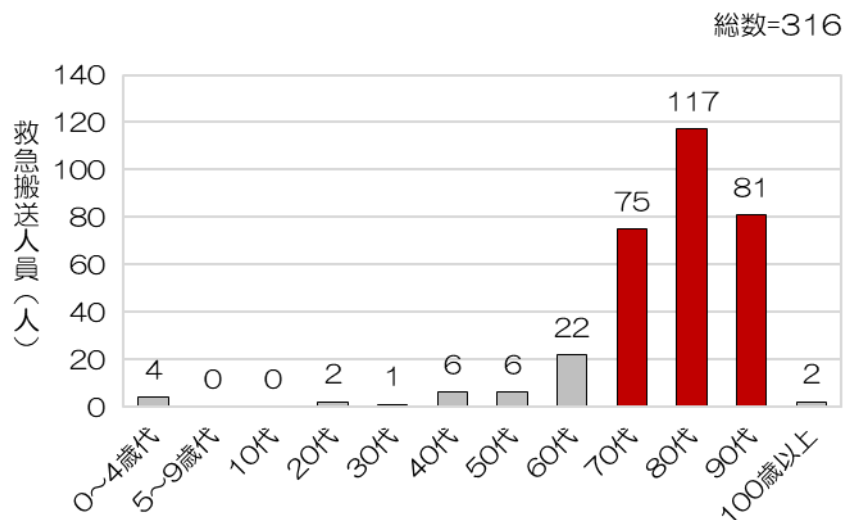


図4－8 年代別の救急搬送人員

イ 死亡・重篤事故が多かった要因

死亡・重篤事故以外を含む「ものがつまる等」の事故全体では、玩具類、食べ物、洗剤、包み・袋といった要因が多くを占めていますが、死亡・重篤事故を見ると、食べ物による事故が多くを占めています（表4－2）。

表4－2 初診時程度で死亡・重篤が多かった事故の要因

1位	2位	3位	4位	5位
食物	餅	パン	肉	おかゆ類
166人	22人	16人	13人	13人

※その他、不明を除く

【事例 ものがつまる等】

食事中に肉片を喉に詰まらせ意識・呼吸がなくなった（80代 死亡）。

- ・ ころび

- ア 年代別の搬送人員

年代別に見ると、70代、80代で多く発生しています（図4－9）。

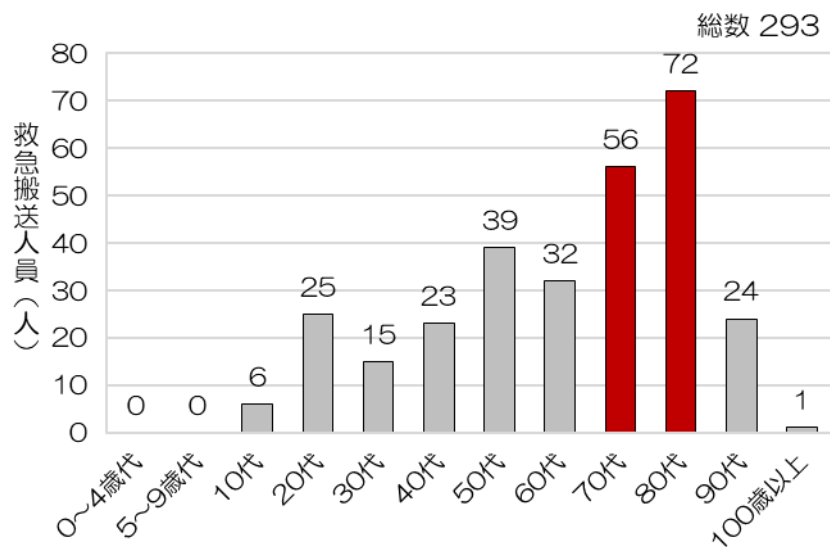


図4－9 年代別の救急搬送人員

- イ 死亡・重篤事故が多かった要因

階段をはじめとして様々な要因で死亡・重篤事故が発生しています（表4－3）。

表4－3 初診時程度で死亡・重篤が多かった事故の要因

1位	2位	3位	4位	5位
階段 21人	酒類・浴槽 各3人		玄関・風 各2人	

※その他、不明を除く

【事例 ころび】

帰宅時、自宅の玄関マットに足を滑らせ後方に転倒し、頭部を床に強打した（80代 死亡）。

- ・ 落ちる

ア 年代別の搬送人員

10代以下や90代以上を除き、各年代において死亡・重篤事故が多く発生しています（図4－10）。

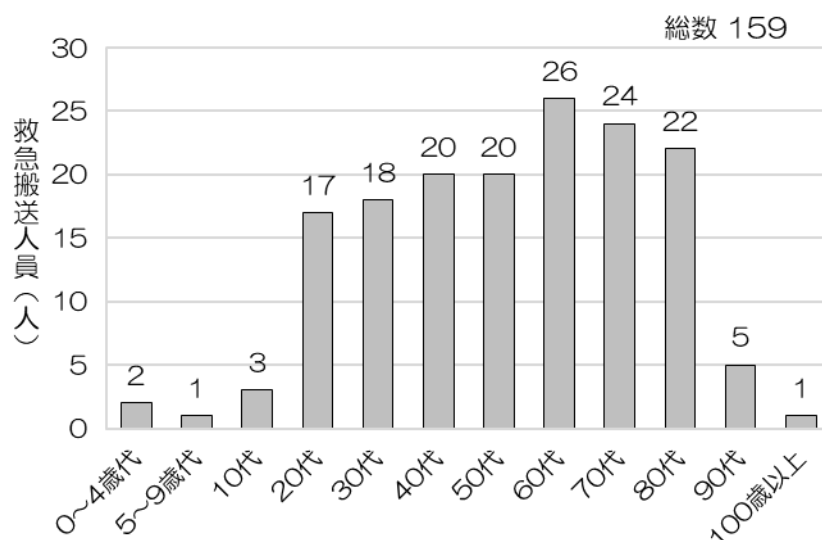


図4－10 年代別の救急搬送人員

イ 死亡・重篤事故が多かった要因

死亡・重篤事故以外を含む「落ちる」事故全体では、階段、ベッド、椅子といった要因が多くを占めていますが、死亡・重篤事故を見ると階段が要因の事故が多くなっています。

20代以上では脚立・踏み台・足湯による事故も多くを占めています（表4－4）。

表4－4 初診時程度で死亡・重篤が多かった事故の要因

1位	2位	3位	4位	5位
階段 41人	脚立・踏み台・足場 8人	ホーム・段差 各6人		梯子・タラップ 4人

※その他、不明を除く

【事例 落ちる】

自宅階段を3階から2階に降りようとしたところ、階段を踏み外し転倒した（60代 重篤）。

- ぶつかる

ア 年代別の搬送人員

年代別に見ると20代から60代で多く発生しています（図4-11）。

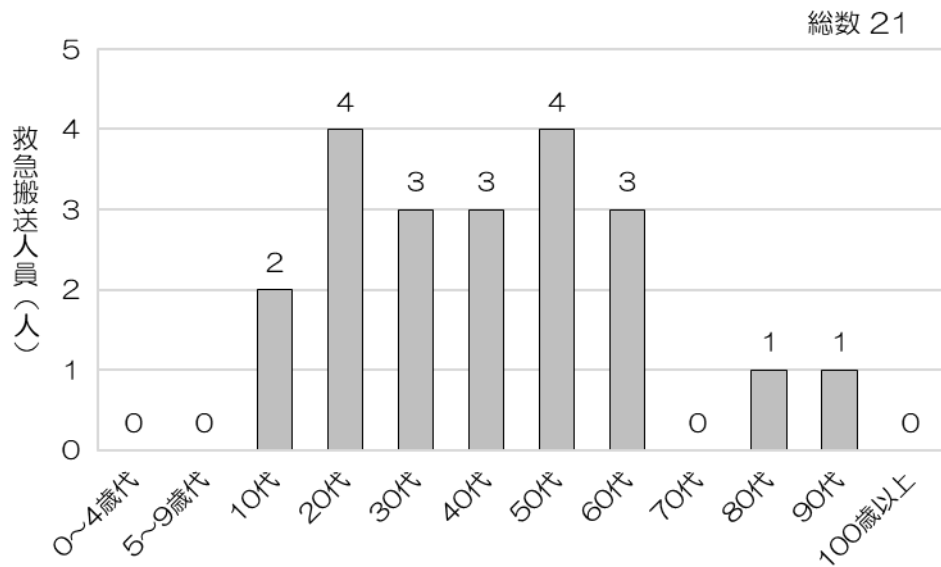


図4-11 年代別の救急搬送人員

イ 死亡・重篤事故が多かった要因

建材やホース、配管にぶつかる事故等が発生しており、労働中の事故も発生しています（表4-5）。

表4-5 初診時程度で死亡・重篤が多かった事故の要因

1位	2位	3位	4位	5位
建材 4人	人・壁・ホース 各2人			配管 1人

※その他、不明を除く

【事例 ぶつかる】

ビル解体中の工事現場で壁体の一部が剥がれ落下し、地上部分にいた警備員にぶつかり受傷した（60代 重篤）。

- ・ はさむ・はさまれる

ア 年代別の搬送人員

年代別に見ると**50代**で最も多く発生しています（図4－12）。

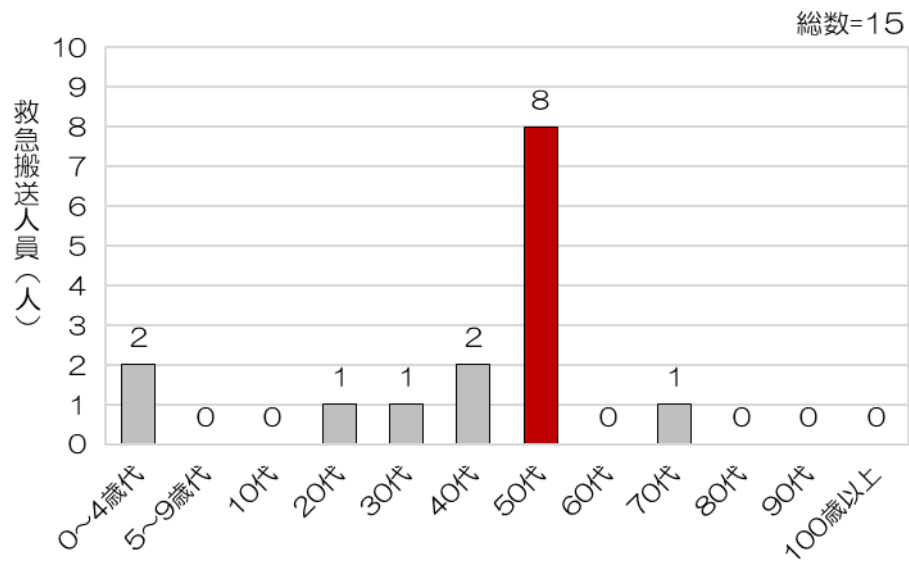


図4－12 年代別の救急搬送人員

イ 死亡・重篤事故が多かった要因

車両や建材など、仕事上の事故の割合が高くなっています（表4－6）。

表4－6 初診時程度で死亡・重篤が多かった事故の要因

1位	2位	3位	4位	5位
自動車 3人	フォークリフト・パワーショベル 各2人		柱・建材 各1人	

※その他、不明を除く

【事例 はさむ・はさまれる】

立体駐車場でトラックを停止させ下車したところ、トラックが前進したため、停止させようとトラックの前方に回り込み、車体と柱の間に右殿部から右下腿を挟まれたもの（40代 重篤）。

- やけど

- ア 年代別の搬送人員

全年代合計で7人発生しています（図4－13）。

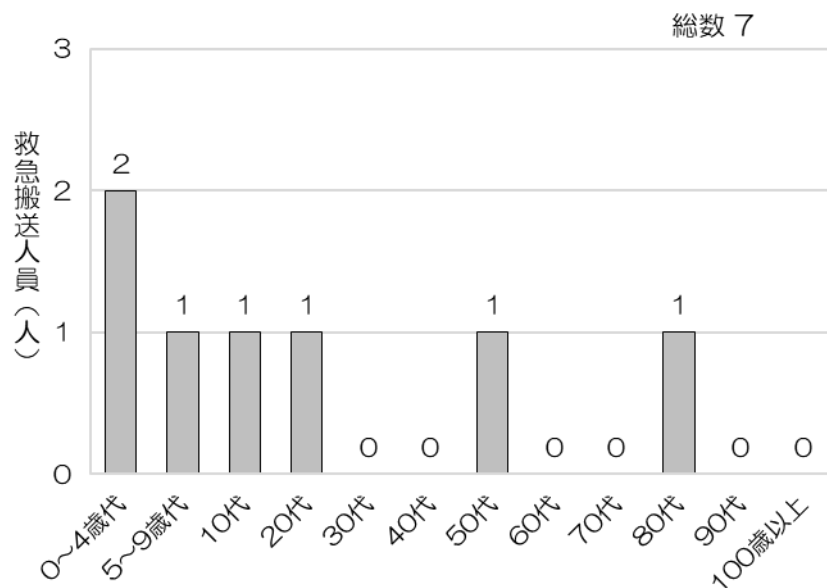


図4－13 年代別の救急搬送人員

- イ 死亡・重篤事故が多かった要因

お茶や・コーヒー類のほか、熱湯や浴槽での要因とした事故が発生しています（表4－7）。

表4－7 初診時程度で死亡・重篤が多かった事故の要因

1位	2位	3位	4位	5位
お茶・コーヒー類 2人	湯たんぽ・鍋・熱湯・浴槽 各1人			

※その他、不明を除く

【事例 やけど】

自宅で湯たんぽを持った時に閉まっておらず、熱湯がかかり受傷した（5～9歳代 重篤）。

- 切る・刺さる

ア 年代別の搬送人員

全年代合計で5人発生しています（図4－14）。

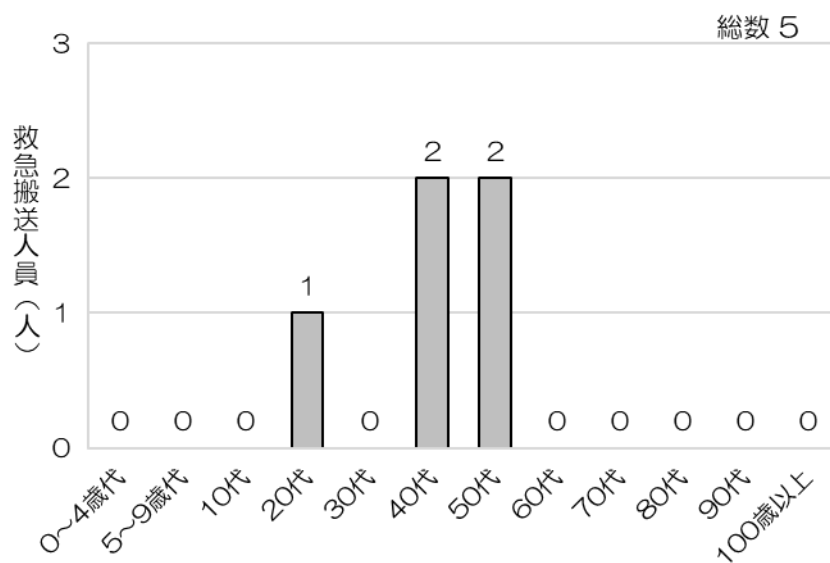


図4－14 年代別の救急搬送人員

イ 死亡・重篤事故が多かった要因

ナイフ（刃物）での事故が多く発生しています（表4－8）。

表 4－8 初診時程度で死亡・重篤が多かった事故の要因

1位	2位	3位	4位	5位
ナイフ 2人	窓・サッシ 1人			

※その他、不明を除く

【事例 切る・刺さる】

自宅ベランダに締め出された際、室内に入ろうと両手でガラスを打ち破り、両腕を受傷した（50代 重篤）。

(9) かまれる・刺される

ア 年代別の搬送人員

全年代合計で5人発生しています（図4－15）

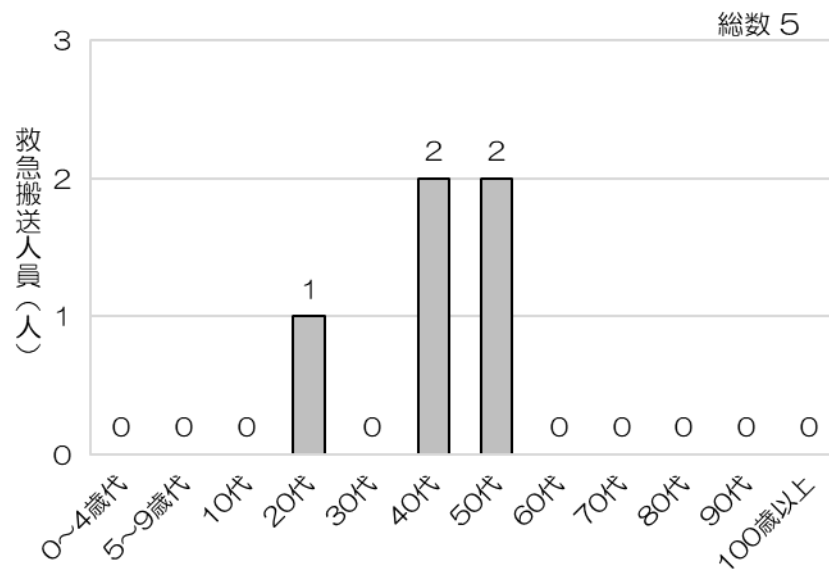


図4－14 年代別の救急搬送人員

イ 死亡・重篤事故が多かった要因

蜂に刺される事故が多く発生しています（表4－9）。

表4－9 初診時程度で死亡・重篤が多かった事故の要因

1位	2位	3位	4位	5位
蜂	犬			
4人	1人			

【事例 かまれる・刺される】

畑で作業中に蜂に刺され、意識が朦朧となり全身に発疹が発生した（60代 重篤）。